

農業委員の女性登用にに向けて 要請がありました



（一社）島根県農業会議では、県内の市町村長と農業委員会会長に対し、令和7年度以降の農業委員会改選で、今以上に女性の登用が進むよう要請活動を行っています。10月6日（月）には、島根県農業会議から三島進会長としまね農業委員会女性協議会佐々木京子会長が役場仁多庁舎を訪れ、糸原町長と金倉弘美農業委員会会長に女性委員の登用に関する要請書が提出されました。奥出雲町の農業委員定数は18人、うち女性委員は現在0人、女性委員がいない農業委員会は、県内では奥出雲町のみです。

国は男女共同参画基本計画において①女性登用ゼロの農業委員会をなくすこと②農業委員の30%を女性とすることを目標にしています。要請書を提出した佐々木会長は「まずは一人でも多くの女性を農業委員に登用し、意欲と熱意を持って職務にあたる女性委員が充実した活動ができるよう、特段のご支援とご協力をお願いしました」と話されました。



【お問い合わせ】農業委員会事務局

電話：52-2680
有線：204000（内線433）

奥出雲町教育支援センター「かたくり」について

学校へ通いにくくなっていたり、通えない状態が続いていたりする小・中学生を支援する居場所として、昨年度より奥出雲町教育支援センター「かたくり」を開設しています。教員免許を有するスタッフが、学習活動や体験活動等とおして、社会的自立や学校復帰をめざして個々の実態に応じた支援を行います。開設日は毎週水曜日は仁多キャンパス（カルチャープラザ仁多）で、毎週金曜日は横田キャンパス（横田コミュニティセンター）です。開設時間はいずれも8:30～15:00です。体験・見学や個別の相談等にも対応しています。

【お問い合わせ】奥出雲町教育委員会 電話:52-2672



除雪作業にご協力を！

今年も積雪の時期になりました。除雪作業が順調に進むよう、次のことについてご理解ご協力をお願いします。

- ① 車両の路上駐車や放置は絶対にしないでください。
- ② 道路の傍に物を置かないでください。道路沿いに設置されている防護ネット（有害鳥獣対策）等は除雪の際に損傷する恐れがありますので撤去してください。（除雪により損傷しても責任は負いかねます。）
- ③ 降雪により道路へ垂れ下がる恐れのある木や枝などは、所有者の方で事前に伐採をしてください。なお、除雪に支障がある場合には道路管理者で取り除くことがあります。
- ④ 流雪溝へ排雪をした後は、必ずフタを元通りにしてください。
- ⑤ 道路状況によっては田畑、空地、水路等へ排雪する場合があります。
- ⑥ 限られた時間内で、早期の車道幅員の確保を優先させながら、除雪作業を行っているため、一軒一軒の出入口の確保や、各家庭に合わせた除雪作業はできません。自宅前に寄せられた雪は各ご家庭で対応してください。
- ⑦ 降雪状況により、主要幹線道路（国道・県道・バス路線など）を優先して行います。迅速な除雪作業を心がけますが、早い箇所と遅い箇所の差が発生することがあります。

【お問い合わせ】▶建設課／電話：52-2675 ▶雲南県土整備事務所 仁多土木事業所／電話：54-1235

「VR認知症体験会」をおこないます

認知症体験会は、VRゴーグルを装着し、認知症のある方の症状を自分の事として一人称で体験していただけます。認知症のある方の立場に立った時に、自分だったらどんな気持ちになるのか・周りの人にどう接してほしいのかを当事者の視点で感じ、考えます。また、グループワークを通していろいろな意見を聞くことも目的としています。

【お問い合わせ・お申し込み】
奥出雲町地域包括支援センター
電話:54-2512 有線:31-5000(内線5283)

開催日：12月23日(火曜日)
時間：10:30～12:00(約90分)
受付開始：10:00～
場所：役場仁多庁舎 タウンホール
(奥出雲町役場仁多庁舎1階)
費用：無料
対象者：奥出雲町にお住いの方
定員：15名(先着)

【注意】本体験は13歳以下の方は推奨されていません。酔いやすい方、13歳以下の方のお申し込みはご遠慮下さい。



研修旅行を終えて

10月14日から17日まで、2年生が3泊4日で福島・東京への研修旅行に行きました。生徒の感想を紹介します。（文意を変えない範囲で一部修正したところがあります。）

【1日目】福島県立ふたば未来学園との交流
ふたば未来学園の生徒さんとの交流は新しい刺激と視点を得るものであった。「同じ年なのにこんなに頑張ってるんだ」と刺激になり「自分も頑張らなくては」「切磋琢磨しよう」と思わせてくれるものであった。

【2日目】震災学習
地元の方々が街の復興のためにどのような活動をしているのか学ぶことができたし、震災の被害を受けた方々の思いなどを現地で聞くことができ、自分たちも復興に関わっていく必要があることが分かった。



学校生活や活動の様子を発信しています！



よここうホームページ

自分たちの考えた「見る・聞くの困りごとを解消するアイデア」を実際にパリティキの人たちに見てもらって評価してもらおうという体験はなかなかないことなので、有意義だと思いました。（パリティキホールディングス）

【3日目】企業・大学訪問、班別自主研修
自分たちで奥出雲の食材を使って作り上げたメニューを発表し、実際に評価をもらって、メニュー考案の難しさを知ることができた。（かばはつす）

・大学に初めて行って雰囲気を感じることができてこれからは活かせた情報とかアドバイスカ話を聞かせてもらえた。（早稲田大学）

・今後の進路を選ぶときにも大切になる、自分のできることや得意なことを見つけるために必要なことや、今の社会にはどんな力が必要になってくるのかを学ぶことができた。（リフルート）

・予定がずれたり時間に追われたり、たくさんトラブルがあったけれど、調べるのが得意、地図をよむのが得意など、自分の得意なことを活かしながら、班のメンバーと協力して楽しく研修できました。（班別自主研修）

【4日目】日本科学未来館
地球の資源や人間の仕組み、宇宙のことなど自分たちの未来のことを考えられる空間だった。

【全体を通して】
・奥出雲では出会う人や話す人が限定されていてコミュニケーションの成長などがあまりなかったけど、他県に行ったら他校の人と関わりを持つことで初めて「他人とこんなに話せるんだな」と自分自身に新しい発見があったし、たくさん学びを得ることができて楽しかった。

・自主的に動くことの大切さを実感した研修となった。質問も自分から積極的にすること、初めの一歩さえ踏み出してしまえばあとは優しく教えてくれる。その勇気を振り絞れるかが社会に出て大きく差となる部分だと思う。

・保護者の皆様、早朝・夜間の生徒の送迎にご協力いただき、ありがとうございました。



今日のあなたの ひとつの買物が、 明日の世界を ちよつと良くする

エシカル消費をご存じですか？人や社会、環境にやさしい商品やサービスを選ぶ消費行動のことです。例えば、地元で採れた野菜を買うことは、地域の農家を支え、輸送による環境負荷も減らすことに繋がります。また、フェアトレードの商品を選ぶことは、海外の生産者の暮らしを守ることに繋がります。

そして食糧に必要な量だけ購入することで、食品ロスを未然に防げます。

エシカル消費は、特別な行動ではなく、日常の中の小さな意識の積み重ねです。買物のたびにこれは誰かの笑顔につながるかな？地球の未来につながるかな？と考えることが、エシカル消費の第一歩です。マイバッグを使う、使い捨てを減らし、長く使える品物を選ぶなど、普段の買物の選択を考え工夫することで、未来を生きる子供たちの将来を明るくしていきます。

フェアトレードとは

開発途上国で生産された農作物や製品を適正な価格で取引し、立場の弱い生産者や労働者の生活改善を目指す貿易の仕組みです。

【お問い合わせ】環境政策課 電話：54-2513

